

平成30年度 東京都児童・生徒体力運動能力調査 結果 (平成30年6月実施)

平成30年9月12日

1 データの考え方

- (1) 本校では、区の平均値以上の項目の割合がどうだったかを見ています。
 (2) ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横跳び ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅跳び ⑧ソフトボール投げ 【8種目】
 (3) 【8種目】×6学年×男女(2)＝96項目となります。

2 結果一覧 (○…区の平均値以上の項目)

学年・性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
1年・男	○		○				○	○
1年・女	○						○	
2年・男							○	
2年・女	○	○		○		○	○	○
3年・男		○	○	○		○	○	○
3年・女	○	○	○	○			○	
4年・男				○		○	○	○
4年・女		○		○		○	○	○
5年・男	○			○			○	○
5年・女	○			○		○	○	○
6年・男	○			○	○	○	○	○
6年・女	○					○		○

3 経年変化 (区の平均値以上の項目の割合)

【平成30年度】53.1% (51項目) ⇔ 【平成29年度】45.8% (44項目) ⇔ 【平成28年度】37.5% (36項目)

4 考察

- 体力調査の結果は、ここ3カ年では改善してきている。
- 課題としては、全校的に「20mシャトルラン」から**持久力**、及び、「上体起こし」「長座体前屈」から**体の柔軟性**を高める必要がある。
- 学年・性別で見ると、1年女子、2年男子、6年女子の体力向上への取組を充実させることが求められる。

校長 (高橋)